

代 表 者

沖
田

陳 情 報 告 書

令和5年1月5日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 沖 田 範 彦

次のとおり陳情活動したので報告します。

1. 期日

令和4年12月21日（水）～22日（木）

2. 陳情先

参議院 防衛施設等の誘致について

衆議院 防衛施設等の誘致について

3. 参加議員

沖田範彦議員

●陳情活動

① 1 日目

・ 期日

令和4年12月21日（水）

・ 陳情先

参議院

宮沢 洋一議員	森本 真治議員	越智 俊之議員
◎和田 政宗議員	衛藤 晟一議員	中田 宏議員
◎鈴木 宗男議員	青山 繁晴議員	片山 さつき議員
山田 宏議員	神谷 宗幣議員	佐藤 正久議員

（◎は直接お会いした議員で、その他は事務所へ配付した。）

・ 陳情内容

防衛施設等の誘致について

（別添「御提案書」を参照）

・ その他

議員本人と面会できたのは2人であったが、両人からは「壮大な計画である」、「発想が素晴らしい」との意見をいただいた。

② 2 日目

・ 期日

令和4年12月22日（木）

・ 陳情先

衆議院

稲田 朋美議員	平 将明議員	寺田 稔議員
---------	--------	--------

（いずれも議員不在のため、事務所へ配付した。）

・ 陳情内容

防衛施設等の誘致について

（別添「御提案書」を参照）

・ その他

参議院・衆議院ともに、不在であった議員については秘書の対応であったが、各々興味を持って聞いてくださり、良い感触であった。

③その他

衆議院 石橋 林太郎議員にお会いし、この度の陳情内容について、防衛省へ情報提供していただくこととなった。

後日、石橋先生から、防衛省整備計画局の「川嶋 貴樹局長」に面会できたとの報告があり、局長から、次のとおり意見があったことを聞いた。

1. 地面をくり抜くという発想はなかった。
2. 艦船の大型化に伴い、基地が手狭になっている。
3. 武器弾薬保管庫が必要である。
4. 隊舎など施設の老朽化が進んでいる。
5. 今回の防衛費増額で、手当のできるところも多い。

④呉市の取り組みと課題

今回の陳情で、現在、呉市にとって千載一遇のチャンスの真ただ中にあると再確認した。

次なる世代の新たな一步を踏み出せる最良の条件が、目の前にぶら下がっており、今を逃してはならないと強く感じた。

議会もしかり、市長には、積極的に動いていただきたいと考えている。

呉市は一枚岩となって、この自衛隊の誘致等に取り組むべきであることを意見として述べ、報告とする。

御 提 案 書

令和4年12月吉日

参議院議員

殿

広島県呉市議会議員
日本のことを大切に
沖 田 範 彦

日本を取り巻く環境は、安全保障上、大変厳しい状況となりつつあり、国民世論も「防衛力強化は必要である」との意識も高まってきています。

政府は、国土と国民の生命財産を守るためには、防衛費をGDP比2%に引き上げる必要があるとの方針を示しました。

我が呉市は、近代日本の発展の一翼を担う地として、海軍鎮守府が置かれて以来、東洋一の軍港としての歴史を刻んで今日に至っています。

しかし、造船や鉄鋼を中心とした重厚長大型の産業の衰退や撤退に伴い、かつての活力は見る影もなく、特に、日本製鉄の完全撤退は、呉市の行く末に大きな影を落としています。

「戦艦大和のふるさと」である呉の原点は海軍です。呉は海上自衛隊の基地として、潜水艦基地として、国防の重要な役割を担っています。

世界情勢が混沌としてきている今、呉の地を今一度、国防の要の地として位置づけて頂ければと御提案申し上げます。

【提案】

- ①日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区（旧日新製鋼）工場跡地42万坪の活用（例：呉海上自衛隊と陸上自衛隊13旅団（海田町）の合同基地として活用）
- ②呉市の南に伸びる半島（通称：休山）の地下に、もぐら基地を掘削構築（研究施設、弾薬庫、住民緊急避難場所、食料備蓄庫）
- ③休山半島の東西を運河で結び、潜水艦の基地として活用
- ④休山半島の東側（大入地区）の海面を掘削残土で土地造成
- ⑤現呉海上自衛隊教育隊の敷地（9万坪）を呉市へ払い下げ（呉市は陸上競技場を中心としたスポーツパークとして活用）

以上、御提案申し上げます。

文責 沖田 範彦